

適合規格		
系 統	超レベリング性1液弱溶剤ふっ素樹脂塗料	
特 長	1) 従来のふっ素樹脂塗料では得られないカバーリング性、レベリング性に優れています。 2) 1液でありながら2液反応形と同等の超耐候性を有します。 3) 塗装後は、まるで濡れているかのような高光沢感を有します。 4) 臭気が少なく、塗装作業性が優れています。	
推奨用途	一般鉄部、金属屋根、化粧スレート屋根、セメント瓦、コンクリート、押出し成形セメント板 など	
荷 姿	15kg、4kg	労働安全衛生法による表示の種別 SDSを参照下さい。
混 合 比	—	
可 使 時 間	—	
色 相	各 色 (オプション: つや調整 3分・5分・7分可)	
乾燥時間 (23℃)	指触1時間 硬化 8 時間	
塗装間隔 (23℃)	16 時間以上	
標準塗付量 (kg/m ² /回)	エアレス 0.15~0.17 (省工程仕上0.20~0.22) ローラー 0.11~0.13 (省工程仕上0.15~0.17) は け 0.11~0.13 (省工程仕上0.15~0.17)	有機溶剤中毒予防規則の種別 第3種有機溶剤等
	15kg 約 120 m ² (1回塗り)	
標準乾燥膜厚	30 μm/回	
塗 装 方 法	エアレス, ローラー, はけ	毒物および劇物取締法による表示
希 釈 剤	ペイントシンナー、エナメルシンナー	
希 釈 率	エアレス 5~20 % ローラー 3~10 % は け 3~10 %	
貯 蔵 安 定 性	6ヵ月 (開封前)	毒物および劇物取締法による表示
消防法による表示	第4類 第2石油類	
塗 装 上 の 注 意	1. レベルフロンは乾燥機構の一部に湿気硬化機能を有します。過度の厚塗りは、硬化不良や付着不良を生じることがありますので適正な塗付量、膜厚で施工してください。 2. レベルフロンの無希釈による施工は、硬化不良などの不具合が生じる場合があります。所定の希釈率にて塗装を行ってください。 3. レベルフロンは塗装後の塗膜表面のレベリング性に優れますが、スケや塗り残しがある場合は補修塗りを行ってください。 4. その他につきましてはレベルフロン施工上の注意事項にしたがい塗装を行ってください。	
適合する主な下塗塗料	下塗塗料: トアアクセス21フィラー、セラシーラーMS、タイトプライマー、ニューエポ21プライマー、スーパーエピライトマイルド	

組成表・試験成績表



商 品 名	レベルフロン
規 格	社 内 規 格

組 成 (白および淡彩色)	成 分	% (重量比)
	着 色 顔 料 ・ 体 質 顔 料	18.0
	ふ っ 素 樹 脂 ワ ニ ス	43.0
	溶 剤	38.0
	添 加 剤	1.0
	合 計	100.0

試 験 結 果	数値は参考値であり保証するものではありません。		
試 験 項 目	試 験 成 績	規 格	
容器の中での状態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくで一様になるものとする。	
乾 燥 時 間 (h)	合 格	8以下(23℃)、16以下(5℃)	
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常であるものとする。	
隠 ぺ い 率	合 格	90%以上	
鏡面光沢度(60度)	合 格	80以上	
耐 屈 曲 性	合 格	直径10mmの折り曲げに耐えるものとする。	
耐 衝 撃 性 (デュポン式)	合 格	衝撃による変形で塗膜の割れ・はがれができないものとする。	
層 間 付 着 性 II	合 格	異常がないものとする。	
耐 アルカリ性	合 格	7日間5%苛性ソーダ溶液に浸漬したとき異常がないものとする。	
耐 酸 性	合 格	酸(5%硫酸168時間)に浸したとき異常がないものとする。	
耐 アルカリ性	合 格	アルカリ(5%苛性ソーダー168時間)に浸したとき異常がないものとする。	
耐湿潤冷熱繰返し性	合 格	湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。	
塗 料 の 加 熱 残 分	合 格	60±10 (wt%)	
促 進 耐 候 性	合 格	塗膜に膨れ・はがれ・割れがなく、光沢保持率は80%以上、色の変化の程度が見本品に比べて大きくなく、白亜化の等級が1以下とする。	